

牛群検定通信 No85

～暑くなってきました、気象情報を活用しよう～

今年も暑くなってきました。暑熱対策は万全ですか？今回は、検定成績表に表示されている気象情報の活用についてご案内します。

1 4月の天候の概況

どんどん気温が高くなっていますが、細長い日本列島では地域差が非常に大きいものです。北海道と北東北を除いて、4月の最高気温は、すでに25度を超える日が出てきています。反面、最低気温は九州を含め多くの地域で、まだ10度を下回る日があり、寒暖の差が激しい状況です。

参考に、気象庁の報道発表によれば、以下の通りです。

平均気温) 北・西日本で高かった。東日本、沖縄・奄美では平年並だった。

降水量) 西日本で多かった。北・東日本、沖縄・奄美では平年並だった。

日照時間) 北・東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美で多かった。北・東日本日本海側では平年並だった

2 表示される気象情報

検定成績表の1枚目の一番上の「検定日」の下の行間をご覧ください。
ここに検定日の平均気温、最高気温、最低気温、降水量、日照時間、積雪量の6項目が新しく表示されています。この気象情報は、テレビの天気予報でおなじみのアメダスの情報を検定成績表に表示したものです。アメダスは全国約840カ所設置され、間隔は約21kmの設置になっています。検定農家一戸一戸について、840カ所のアメダスから距離的に一番近いアメダス（平均で10km程度）を選び出して、その気象情報を検定成績に表示してあります。

3 気象情報の活用

検定成績表が届けられたら直ぐに封を切りましょう。そして、最高、最低気温、平均気温を確認してください。

- (1) 暑熱対策として、平均気温が21度以上になったら、送風扇が必要とされています。冒頭で記したように、今の時期は寒暖の差が激しい時期です。検定成績表で最高気温が20度を超えたら、日中だけでも送風扇を回す必要があります。
- (2) 子牛の寒さの限界温度は13度とされています。日中は春の陽気でポカポカなので、つい子牛の防寒を忘れがちです。夜間から早朝はまだまだ最低気温は10度下回ります。検定成績表の最低気温が13度を越えるまで、夜間の防寒はまだまだ必要です。

また、夜間分娩の場合、子牛に付着した羊水を速やかに拭き取るなどの手当が必要になります。

- (注) 検定日の気候がたまたま暑かったまたは寒かったという場合もありますので、天気予報などの情報を広く活用してください。